

家庭に掲示しておいて下さい!

令和8年4月版

吉見町立西小学校

吉見町立西小学校

地震発生対策ガイドライン家庭版

西
小

- 吉見町立西小学校の校舎・体育館は、耐震化構造になっていることを前提に判断します。
- 登下校中の災害発生については、学校が自宅のどちらに向かうかの判断するポイント地点を通学路上に決めておく（吉見町立小学校緊急対応マニュアル「私の緊急時メモ No1」に記入）（マニュアルは4年以上に配布します。紛失した時は担任まで）
- *地震発生翌日、登校できない場合は原則として自宅待機させて下さい（安全を優先して下さい）
- *地震の震度は、NHK(TV)の地震速報(吉見町の震度)とします。

地震の揺れの大きさ

初動対応マニュアル

震度4

- ・被害報告なし。
- ・一部の人、身の安全を図ろうとし、寝ている人のほとんどが目覚めます。
- ・場所によっては物が落ちる。

- ①児童の無事を確認し、一時的に安全な場所に避難（安否確認）
- ②西小学校地震対策本部の設置（職員の役割分担 今後の対策案）
 - ・原則として通常授業を行う。被害ありの時は打ち切り。
 - ・授業終了後の下校については、下校時の注意をし、必要に応じて地区別（同一方向）で下校させる。
- ③保護者へ情報の提供（マチコミメールの配信、HP）
- ④教職員の下校指導（巡回指導、各地点での立哨指導）



震度5弱以上

※被害報告なし

- ①児童の無事を確認し、一時的に安全な場所に避難（安否確認）
- ②西小学校地震対策本部の設置（職員の役割分担 今後の対策案）
 - ※震度5弱に限っては、施設整備等の安全が確認できたら
 - **授業を継続する**
 - ・授業終了後の下校については、下校時の注意をし、必要に応じて地区別（同一方向）で下校させる。
- ③保護者へ情報の提供（マチコミメールの配信、HP）
- ④教職員の下校指導（巡回指導、各地点での立哨指導）

震度5弱以上

※被害報告あり

- ・壁や天井にヒビ、棚の本が落ちるなど
- ・立っていることが困難になる。
- ・停電などが起きる。
- ※テレビやラジオ等の情報に注意し、嵐山町の防災計画に従って行動する。

- ①児童の無事を確認し、一時的に安全な場所に避難（安否確認）
- ②西小学校地震対策本部の設置（職員の役割分担 今後の対策案）
 - **授業を打ち切る**
 - ・保護者へ連絡確認（マチコミメールでの確認、電話での確認）
- 【マチコミメール登録者へ配信】
 - 家庭調査票や災害時引き渡し方法により、学校留置・引き渡し
- 【マチコミメール未登録者や引き渡し困難の場合】
 - 学校留置
 - 【引き渡しカードを参照し対応する】
 - マチコミメールを配信し、引き渡しを行う
 - 学校に留め置くので、引取のため西小に来校し引取りを。（教室等で待機予定。変更する場合は昇降口に掲示する）（兄弟姉妹が居る場合は、下の子の教室で待機させる予定）
- ③保護者へ情報の提供（マチコミメールの配信、HP、**災害伝言171**）
- ④教職員の下校指導。
- ⑤臨時休校等の措置。
- ⑥避難所開設の協力（体育館は地域住民へ開放、冷暖時期は教室利用）

嵐山町の活動体制

震度5弱 : 災害警戒本部
震度5強~ : 災害対策本部
が設置される

吉見町 災害対策本部

- 【体育館 教室棟の順で避難所開設予定】
- 避難所開設への協力支援（吉見町の判断で、①体育館②教室の順）

→吉見町避難所開設運営マニュアル資料の建物被災状況チェックシートを町担当職員と行う（危険の場合は、町災害対策本部へ連絡し、避難所の移動など検討する）



★電話やマチコミメールが不通になる場合は、NTTの災害用伝言ダイヤル(171)を使用して、学校からの伝言を聞いてください。番号の覚え方は、忘れてイナイ(171)

災害伝言ダイヤル(171)で学校からの伝言を聞く方法

- ①『171』をダイヤルする。〈ガイダンス〉
こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。再生される方は『2』
 - ②『2』をダイヤルする。〈ガイダンス〉
被災地の方は、連絡を取りたい電話番号を、市外局番からダイヤルする。
 - ③『0493-54-1509』（西小学校の電話番号）をダイヤルする。
- ◆学校の被害状況により電話等が使用できず、伝言が録音できない場合もありますので御了解ください。